

家庭科学習指導案

6年1組 32名 指導者 永田佳子

本授業では、以下の検証を行うものである。

- 「つかむ・見通す」過程で、各自衣服を持参したことは、家庭生活とつながり、本時の学習意欲をもたせる手立てとして効果的であったか。(研究内容1)
- 「調べる・確かめる」過程での「かかわり合う」グループ活動及び教師の手立ては、本時の目標を達成するのに効果的であったか。(研究内容2)

1 題材 暑い季節を快適に

2 目標

涼しい着方や住まい方に関心を持ち、着方や住まい方の課題を解決しようとするとともに、日常着の手入れや洗濯の仕方が分かり、家庭での実践意欲をもつことができるようにする。

3 題材の評価規準

- 涼しい住まい方や日常着の手入れに関心を持ち、自分の課題に取り組もうとしている。
【家庭生活への関心・意欲・態度】
- 涼しい住まい方や気持ちよく着るための手入れの仕方を工夫している。 【生活を創意工夫する能力】
- 涼しい住まい方や手洗いを中心とした日常着の手入れができる。 【生活の技能】
- 涼しい住まい方や気持ちよく着るための日常着の手入れの仕方を理解している。
【家庭生活についての知識・理解】

4 題材について

(1) 題材の価値

子どもたちは、これまでに第5学年「寒い季節を快適に」において、寒い季節を快適に過ごすための着方や住まい方の工夫についての学習をしている。

本題材は、学習指導要領の内容「C 快適な衣服と住まい」の(1)「衣服の着用と手入れ」のア「衣服の働きが分かり、衣服に関心をもって日常着の快適な着方を工夫できること。」、(2)「快適な住まい方」のイ「季節の変化に合わせた生活の大切さが分かり、快適な住まい方を工夫できること。」を関連させて、扱う構成している。また、「D 身近な消費生活と環境」の(2)「環境に配慮した生活の工夫」とも関連を図っている。

ここでは、衣服の着用、快適な住まい方の学習を通して、身の回りへの快適さへの関心を高め、その大切さに気付くとともに、衣服、住まいに関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、衣生活や住生活をよりよくしようと工夫する能力と実践的な態度を育てることをねらいとしている。衣服は、人間にとってもっとも身近な環境であり、住まいは、それをさらに外側から取り巻く環境である。このように、衣服と住まいは、相互に関連しながら人間を取り巻く環境をつくっている。そこで、第6学年でも、体により身近な着方から住まい方へ広げて考えさせ、身の回りの快適さについて生活状況に応じて工夫していける子どもを育てていきたいと考える。

この題材を通して、夏を涼しく過ごすための着方・住まい方に着目し話し合うことで、家庭生活の営みのすばらしさに気付き、これまでの家族の思いを感じ取ったり、着方・住まい方への関心を高めたりすることができると思う。

このことは、中学校での「C 衣生活・住生活と自立」の学習へつながる。

(2) 子どもの実態と指導

本学級の子どもの家庭科学習への関心は高い。特に調理や生活に役立つ物の製作など実習への関心が高く、朝食に合うおかずづくりの学習では、友達と教え合って意欲的に取り組む姿が見られた。しかし、快適に過ごすための衣服の着方や住まい方については、第5学年で寒い季節を快適に過ごすための学習を行ったが、日頃から意識している子どもはまだ少なく、関心が高いとは言えない。また、暑い季節を快適にするための方法として、衣服を工夫することなどよりも「冷房器具を使えばよい」という安易な発想が多い。

そこで、題材の「つかむ・見通す」過程では、衣食住を含めた視点から暑い季節の暮らしの工夫を見つめさせ、便利さを優先してしまう快適さへの意識を広げていきたい。また、家庭から持って来た衣服を着用したり、簡易実験を行ったりする実践的・体験的な学習を通して、実感を伴った理解をさせたい。加えて、健康や環境の視点から自然を生かした住まい方の大切さや消費生活の視点も取り入れて、家庭で実践しようという意欲につなげていきたい。

5 指導計画（総時数8時間）

過程	主な学習活動	評価の観点				評価規準	時間	
		関	創	技	知			
つかむ・見通す	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">家庭で</div> 暑い季節を快適に過ごす工夫や課題について調べる。							
	1 暑い季節を快適にするための住まい方や日常着の着方について考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">暑い季節を快適に過ごすためには、どのような住まい方や着方をすればよいだろうか。</div>	○				○ 涼しい住まい方や着方について関心を持ち、快適な過ごし方について考えようとしている。	1	
調べる・確かめる	2 暑い季節を気持ちよく健康に過ごすための衣服の着方を考える。 ・衣服の種類 ・日常着の着方 ・衣服の働き ・衛生的な衣服の着方				○	○ 衣服の保健衛生上の働きが分かり、気温や季節の変化に応じた着方について理解している。	1 (本時)	
	3 衣服の汚れ方と清潔な手入れの仕方を調べる。 ・汚れの付きやすい部分 ・表示の手入れの仕方					○	○ 日常着の手入れの必要性を理解している。	1
	4 洗濯の仕方や汚れの落とし方を調べ、衣服の洗濯をする。 ・必要な道具 ・洗い方（もみ洗いなど）				○		○ 手洗いを中心とした洗濯ができる。	2
	5 涼しい住まい方を調べる。 ・通風の仕方 ・暑さへの対処					○	○ 夏を快適に過ごすための暑さへの対処の仕方や通風の仕方について理解している。	1
	6 家庭での夏の住まい方について課題を見付け、快適に過ごすための工夫を考え、実践計画を立てる。		○			○ 住まい方について課題を見付け自分なりに快適に過ごすための住まい方について考えたり、工夫したりしている。	1	
生活に生かす	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">家庭で</div> 家庭で実践をする。							
	7 家庭での涼しい住まい方や着方の実践発表会をする。		○			○ 環境面からも生活を見直し、快適な住まい方や着方を工夫している。	1	

6 本 時（2/8）

(1) 目 標

衣服の着方に関心を持ち、涼しい着方を調べたり、考えたりして、衣服を清潔に気持ちよく着る方法について理解することができるようにする。

(2) 評価規準

衣服の保健衛生上の働きが分かり、気温や季節の変化に応じた着方について理解している。

【家庭生活についての知識・理解】

(3) 指導にあたって

「つかむ・見通す」過程では、本時の問題意識を持たせるために、前時で挙げた衣服の着方の工夫について取り上げ、「それが本当であるか。どうしたら確かめられるか。」と、方法についても考えさせるようにする。

「調べる・確かめる」過程では、涼しい着方を見付けるために、衣服を着用したり、簡易実験を行ったりする実践的・体験的な活動を取り入れる。また、「(一人で) →グループで →みんなで」の活動を取り入れ、友達とかかわる中で、より理解が深まるようにする。そして、その根拠を示すために簡易実験等の資料提示を行うことで、より理解を深め、実践意欲が高まるようにする。

「生活に生かす」過程では、自分の伸びを実感させるために、本時の学習内容、かかわり合い方、意欲を振り返る学習シートで自己評価を行う。また、家庭生活との関連を図り、実践への意欲につなげるために、これから家庭でやってみたいこと記入するようにする。

過程	時間	形態	主な学習活動と指導の手立て・評価	教材等
つかむ・見通す	10	みんな	<p>1 司会団が、前時の振り返りをする。</p> <p>2 司会団と、めあてを立てる。</p> <p>暑い季節を快適に過ごすためには、どのような着方をしたらよいだろうか。</p> <p>3 教師の、学習のポイントの説明を聞く。</p> <p>4 司会団が、本時の学習の流れを確認する。</p>	<p>学習計画表</p> <p>学習シート</p> 
調べる・確かめる	5 10 15	グループで グループで みんな	<p>5 涼しい衣服の着方を、衣服を着用したり、実験したりして調べる。</p> <p>(1) 家で考えてきた涼しい衣服の着方をグループ毎に話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半袖、半ズボンを着るよ。 ・白や薄い色が多いなあ。 ・襟開きが大きいね。 <p>(2) グループで毎に2つの実験を行う。</p> <p>〈実験1〉衣服の形（風通し）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 襟や袖口を閉める ② 襟や袖口を開ける ③ ウインドブレーカーを着る <p>〈実験2〉布地の性質（吸水性）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 素足にビニル袋をはく。 ② くつ下をはいてから、ビニル袋をはく <p>(3) 実験から分かったことを、分類・整理する。</p> <p>6 教師の、涼しい着方と必要性の補説を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空気を通しやすものを着よう。 ・汗を吸い取るものを着よう。 ・汚れていると、吸水性が悪くなるのか。 ・温かい着方と反対の着方だね。 <p>7 司会団と、本時のまとめをする。</p> <p>(涼しく快適な着方は、) 布地はうすくて、汗を吸い取るものがよい。形はえりやそで口が開いていて、風が通りやすいものがよい。</p>	<p>学習シート</p> <p>冬の衣服 夏の衣服</p> <p>短冊 ペン</p> <p>通気性の実験資料 吸水性の実験資料</p> 
生活に生かす	5	みんな	<p>8 司会団が、本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・涼しい着方については、あまり考えたことがなかったけれど、季節に合わせた工夫をしていたのだな。 ・これから冷房にたよる前に衣服の着方を工夫してみよう。 	<p>学習シート</p> 